

2011年6月16日（木）

広島国際大学大学院 実践臨床心理学専攻主催  
国際シンポジウム

「戦争とテロリズム、心理療法」

ニューヨーク市立大学教授のストロジャー博士は、歴史学者であると同時に精神分析臨床家でもあり、個人や歴史の中のトラウマを研究してきました。本学 一丸藤太郎教授は、日本の心理療法を牽引してきた臨床家で、原爆被害者に対する調査も行ったトラウマ研究の第一人者です。今回「戦争やテロリズム」が人の心に残す長期的・短期的影響と、それに対する心理療法について、日米のトラウマ研究の第一人者たちによるシンポジウムを開催します。

なお、日程につきましては以下のとおりです。

- ◎ 日 時：2011年6月19日（日） 13:00～17:00
- ◎ 場 所：広島国際大学 広島キャンパス 3階 300教室  
(〒730-0016 広島市中区鞆町1-5)
- ◎ 演題・講師：・「戦争とテロリズム、心理療法」  
チャールズ B. ストロジャー博士  
・「ヒロシマ原爆被爆者はどのように生き延びたのか」  
一丸 藤太郎（本学 実践臨床心理学専攻 教授）
- ◎ 対象者：一般、学生、臨床心理士
- ◎ 定 員：180名 先着順
- ◎ 受講料：無 料

添付文書 ポスター

以 上

この件に関するお問い合わせ先

広島国際大学 広島学務課内 実践臨床心理学専攻事務室 までお願いいたします。

TEL：082-211-5101

上記リリースに関する資料は <http://www.hirokoku-u.ac.jp/>にUPされております。

